

2012年12月吉日

各位

株式会社 図書館流通センター

公益財団法人 図書館振興財団主催、株式会社 図書館流通センター後援

第16回「図書館を使った調べる学習コンクール®」

今年は **4万点を超える数の作品** が集まりました

新しい学習指導要領には「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する」と謳われています。この新しい教育のあり方を推進する「図書館を使った調べる学習コンクール」(第16回 主催：公益財団法人 図書館振興財団)の作品募集期間が11月末日で終了し、今年もたくさんの作品が寄せられました。株式会社 図書館流通センターはこの取り組みを後援しておりますので下記のとおりこのコンクールについてご案内申し上げます。

募集期間・作品数概算

2012年9月15日～11月30日、**応募総数：40,229 作品**
(前年度29,739点、1万点以上の増加)

作品の内容

公共図書館や学校図書館を使って調べ、まとめた作品
(テーマは自由です)

募集部門

小学生 / 中学生 / 高校生 / 大人(一般) / 子どもと大人

今後のスケジュール

1次～3次・最終審査：2012年12月～2013年1月12日

結果発表 1月16日(水)13時～
(公益財団法人 図書館振興財団ホームページ
<http://www.toshokan.or.jp/>にて)

表彰式 3月9日(土)都内会場にて

(来賓並びにお申込みの報道関係者には1月中旬にご案内をお送りいたします)

主催

公益財団法人 図書館振興財団



『続 しんごうってどうなってるの?』
前回(第15回)文部科学大臣賞受賞
自動車用の信号機と鉄道用の信号機
で、赤・青・黄色の並ぶ順番が違うっ
てご存知でしたか? どうしてこの順
番なんだろう、と疑問をもった小学2
年生が、地元の図書館、信号機の企
業、専門図書館、と資料を探し、考
えた課程をまとめた作品です。
今年もユニークなテーマを調べた
作品が多々寄せられています。

後援

文部科学省、観光庁、東京都教育委員会、横浜市教育委員会、日本児童教育振興財団、海外子女教育振興財団、日本図書館協会、読書推進運動協議会、日本児童図書出版協会、読売新聞社、活字文化推進会議、毎日新聞社、日本教育新聞社、教育新聞社、全私学新聞、大日本印刷株式会社、丸善株式会社、株式会社図書館流通センター、図書館蔵書検索サイト・カーリル、株式会社ジュンク堂書店、株式会社雄松堂書店、株式会社文教堂グループホールディングス

背景として

図書館は、無料で本が借りられるだけの施設ではありません。株式会社図書館流通センター（TRC）は図書館を「人類の英知を未来へと生かす知識と情報の宝庫」と考え、図書館本来の「調べる」機能をもっと多くの方々に活用していただきたい願いを込めて、このコンクールを第1回（1997年）から後援し続けています。

各地で「図書館を使った調べる学習」を推進すると共に、受託する図書館でも利用者サービス向上につながる「地域コンクール」開催事業について地域と共に取り組んでおります。



この件に関するお問い合わせ

株式会社図書館流通センター 調べる学習推進室 佐藤達生
広報 山田万知代
電話 03-3943-2221 FAX 03-3943-8441

公益財団法人 図書館振興財団 コンクール担当 植村圭子
電話 03-3943-4743 FAX:03-5978-3291